

謹賀新年

年頭のごあいさつ



和寒町長 奥山 盛

新

新型コロナウイルス感染症予防対策については、対策本部を設置して、必要の都度、町民の皆様へ情報を発信してまいりました。町民の皆様には、引き続き、「三密」の防止に努めていただくとともに、過度な自粛や制限を他者に求めたり、感染された方やそのご家族を非難したり差別することのないよう、ご理解とご協力をお願いいたします。

新 年明けましておめでとうございませう。町民の皆様におかれましては、ご家族おそろいで輝かしい令和3年の新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げますとともに、平素から町政に対する温かいご理解とご協力に感謝申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスが猛威を振るい、外出時のマスクの着用や手洗いの励行、密閉、密集、密接のいわゆる「三密」を避ける行動など新たな生活スタイルが求められる一年となりました。

型 新型コロナウイルス感染症予防対策については、対策本部を設置して、必要の都度、町民の皆様へ情報を発信してまいりました。町民の皆様には、引き続き、「三密」の防止に努めていただくとともに、過度な自粛や制限を他者に求めたり、感染された方やそのご家族を非難したり差別することのないよう、ご理解とご協力をお願いいたします。

町の対策としては一早く、町内事業所への緊急支援や全町民へのお買い物クーポンを発行しました。また学校や保育所の換気対策や町立病院の発熱外来対応、介護施設対策支援を行い、現在、四割増しの「新型コロナウイルス対策 和寒元気！プレミアム応援券事業」を実施し、町内の経済活性化に期待しているところではあります。

このほか情報化を推進するため児童生徒のタブレット導入や光回線を未整備地域に整備することとしております。

感染拡大の勢いが止まらないなか、外出の自粛などで厳しい状況にある事業所もあることから、今後、さらに関係機関や団体と連携を強めながら、必要な対策を進めてまいります。

基

幹産業の農業は日照不足により農作物全般への影響が心配されましたが、概ね平年並みの作柄になり安堵しているところではあります。

特産品のPRについては、和寒町フードツーリズム推進協議会の取り組みである各種物産会などは、感染拡大防止の観点からその多くが中止となり、本町の特産品を直接PRする機会が少なくなつたなかで、今年で四回目となる札幌工スタ地下大食品街での「和寒産のカボチャ」や「わっさむペポナッツ」を使った惣菜や洋菓子などを販売する企画が十月に行われ、消費者に和寒町とカボチャの産地をPRし、認知度の拡大に努めてきました。

今後、二月には、「越冬キャベツの里」和寒フェアを計画しています。

町

立病院の無床診療所化については、これまで町民説明会や町政懇談会など様々な場面を通じて町民の皆様へ説明をさせていただきました。

町立病院の無床診療所化に向けて、旭川市内の民間病院と地域医療の充実など連携すること、さらに救急患者の受け入れ先が見つからないといった、いわゆる「たらい回し」になることがないように、旭川市を中心とした上川中部医療圏との連携についても協議を進めているほか、休日や夜間に町外の医療機関を受診した場合の交通費の助成などについて取り組む予定でいます。

今後も、町民の皆様への不安をできる限り解消できるよう取り組むとともに、現在の入院や外来で病院を利用されている方々にも混乱を招かないよう、引き続き、丁寧な対応と説明に努めてまいります。

結

びに、町民の皆様にとって、希望に満ちて迎えた新年が限りなく明るい年になりますようにご祈念申し上げ、年頭にあたつてのご挨拶といたします。